

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	持続可能なコミュニティの形成をめざした多世代型居場所づくりプロジェクト			
申請大学・高校等名	大学及び高校等名	関西国際大学		
	活動グループ名	福祉学専攻インターンシップ	参加学生等人数	23人
指導責任者名及び連絡先	学部・学科等名称	教育学部教育福祉学科		
	責任者氏名	尾崎 慶太	連絡先電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団体及び代表者名	団体名	三和本通商店街振興組合		
	代表者氏名	理事長 藤本 一彦	連絡先電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団体及び代表者名	団体名	企業組合はんしんワーカーズコープ、三和本通商店街振興組合		
	代表者氏名	代表理事 馬場 義竜	連絡先電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動目標	本授業は、尼崎の地域課題に取り組む市民活動団体はんしんワーカーズコープ、および活動フィールドの組織団体である三和本通商店街振興組合との協働活動を通して、ソーシャルワークの基礎である住民主体の観点や人権感覚を養うことを目的とする。三和本通商店街における地域課題の発見から住民と共に解決するプロセスを関連団体と協働して進め、そのなかで多角的・多元的な考え方を獲得し、大学での学びを深化するためのプログラムを展開する。			
活動内容及び実績、評価	<p>(活動内容及び実績)</p> <p>・本プログラムは、三和本通商店街で展開してきた過去の活動実績および培ったノウハウを活用し、新たなステージへ挑戦するために、シェア型図書館開所プロジェクトと商店街の歩みアーカイブプロジェクトの2つを実行した。</p> <p>○シェア型図書館プロジェクト※詳細は添付資料参照</p> <p>・活動内容</p> <p>3年生が主体となり、プロジェクトを進めた。シェア型図書館開所のためには、資金確保となるクラウドファンディング、図書館づくりDIY、開所に向けたオープニングイベント等のフェーズがあるため、それぞれに主担当をおきつつ、計画的に進めていった。</p> <p>・クラウドファンディング</p> <p>シェア型図書館プロジェクト構想案を一般社団法人オリコムと協力して作成し、2022年6月商店街理事会にてプレゼンテーションを行った。同プロジェクトの承認を得た後、再度一般社団法人オリコムと協議のうえ、9月のクラウドファンディングに向けて内容を固めていった。適宜商店街で開かれる有志の会議(三和みらい会議)に出席し、プロジェクト実行に向けたアドバイスははんしんワーカーズコープや商店街からもらった。そして、9月から1か月半の期間でクラウドファンディングを実行した。この間、学生らは、FMあまがさきに出演して広報活動にも取り組み、目標金額に到達した。</p> <p>・図書館づくりDIY</p> <p>2022年11月から毎週土曜日に図書館づくりのDIYを進めていった。連携団体だけでなく、クラウドファンディングに応援していただいた市民の方、その他当日の飛び込み参加も</p>			

歓迎し、壁塗り、床貼り、本棚設置などを手  
作りで進めていった。そして、2023 年 1 月  
に完成に至った。

・オープニングに向けたイベント

グランドオープンを 2023 年 1 月 28 日に  
設定し、それに向けたプレオープンイベント  
も企画した。社会福祉法人福成会杭瀬福  
成園と連携し、さをり織体験と図書館にちな  
んだしおりやブックカバーの販売も行い、盛  
況に終わった。1 月 28 日のグランドオー  
プンを終えた後、クラウドファンディングのリタ  
ーンとして設定していた大学生による読み聞かせイベントがあり、2023 年 2 月に実行し  
た。

・成果報告

1 年間のプロジェクト総括として、2023 年 2 月 3 日に関西国際大学尼崎キャンパスで開  
催された尼崎市近郊の高校生・大学生活動報告会に登壇し、来場者へ向けて報告を行  
った。

<大学 HP 広報記事>

[【教育学部】福祉学専攻が地域団体と協働してクラウドファンディングにチャレ  
ンジ | 関西国際大学 \(kuins.ac.jp\)](#)

[【教育学部】クラウドファンディングで目標達成しました！ | 関西国際大学  
\(kuins.ac.jp\)](#)

[尼崎商店街にシェア型図書館「さんとしょ ～さんわにあるみんなのとしょかん  
～」開設 | 関西国際大学 \(kuins.ac.jp\)](#)

○商店街の歩みアーカイブプロジェクト

2 年生が主体となり活動を行った。2023 年 9 月に 50 年を迎える三和本通商店街は、  
未来に向けた変革の時にある。そこでこれまでの歴史を未来に残していくための活動に取り  
組んだ。

・活動内容

2022 年 8 月に商店街をフィールドワークし、商店街の「いま」を把握した。そして 2022 年  
10 月、商店街の過去の資料や写真の提供を商店街組合に依頼した。組合理事に内容  
を確認しながら、収集した資料をいくつか抽出し、シェア型図書館の横通路(商店街組合  
事務所 1 階通路)に展示するためのポスター制作に取り組んだ。また同時に、現在の店  
舗紹介を行うため、学生が店舗の歴史や店主の想いをインタビューし、内容をポスターと  
してまとめた。

・成果報告

2023 年 2 月、シェア型図書館さんとしょオープンに並行するかたちで、完成したポスター  
を展示し、来館した市民のみなさんの目にとまるようになっている。



(評価)

○想定していた活動成果に対する達成度合い(達成できたこと、できなかったこと等)

本プログラムは、2018年度からの実績をベースにしていることから、はんしんワーカーズコープや三和本通商店街振興組合との関係性が構築されている。さらに一般社団法人オリコムと協力関係を築いたことで、シェア型図書館プロジェクトはスムーズに実行することができた。これまでどちらかと言えば大学生中心で取り組んでいた活動であったが、今年度からは、多様な人たちとの協働を意識的にプログラムに組み込んだ。プログラムの随所で、多様な人とのコミュニケーションが生まれたことは、シェア型図書館さんとしよが「みんな」の場所であるという理解促進につながっていると思われる。もう一つのプロジェクトである歴史アーカイブでは、一部の商店街理事との交流にとどまったこと、また資料収集にも限界があったことなどが課題として残った。

○学生等が関わった地域、団体の活動の変化等

上述したとおり、活動地域の各種団体とは年々関係性が深まってきたため、大学生の活動を商店街の一つの要素として捉えていただけのような状況にまでなっている。シェア型図書館だけでなく、商店街50年歴史アーカイブに取り組むことで、商店街のこれからの見据える重要なファクターであることを振興組合および各店舗に波及効果があったと推測される。今回のプロジェクト後に、再度商店街が保管している過去の資料を振興組合として収集している状況にあるため、活動地域の変化が見られている。もちろん、シェア型図書館さんとしよには、これまでの客層以外の人たちが訪問するなどの様子も見られ、少しずつ良い兆候が見られているようである。

○学生等の学習意欲、地域に対する考え方の変化等

これまでのプロジェクトの蓄積はもちろんのこと、さらにその先への一歩進めるために、多様な人たちとの交流を通しながら、プロジェクトを進めていったことで、積極的に活動に参加する様子が多々見られた。また、プロジェクト後に社会福祉士実習に臨んだある学生は、実習中に障害のある人の外出支援としてシェア型図書館さんとしよを訪問するなど、地域を意識した実習に取り組んでいる状況にあった。この事例は、このプロジェクトを通して、福祉職を志す学生の市民的素養を醸成したと考えられる。

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。